

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	87	学校名	仙台市立馬場小学校	校長名	和泉 英司
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

「身近にできる活動・地域と関わる環境学習」

～体験的な学びを重視した活動を通して～



2 取組の紹介と成果

(1) 全校・地域で取組

① リサイクル活動【ごみの分別回収】

教室やランチルーム、職員室でも、雑紙・PPC用紙類、プラごみ、一般ごみに分別し回収しています。学校においては、日常的な取組として児童に定着しています。さらに、家庭や地域に呼び掛け、子供会が中心となって、年6回の資源回収を行うなど、地域全体で「リサイクル」の意識を育てています。



② 地区清掃

復興プロジェクトの一環として、全校児童が2班に分かれ、学校周辺の清掃活動を行いました。清掃を行った道路沿いには、空き缶や、たばこの吸い殻等がたくさん落ちていて、子供たちは一生懸命拾い集めていました。活動中、学区内にある「秋保大滝」に向かう観光客と思われる車も多く通り、児童がごみ拾いしている姿は、ごみのポイ捨てを防ぐ啓発にもつながっていると思えました。



(2) 学年の取組 (5学年 環境保全米 6学年 そばの栽培)

【5学年】

秋保地区で行われている、減農薬・減化学肥料による「秋保環境保全米」について、それに携わる地域の方々の思いを、体験を通して学びました。地域の水田での田植えや稲刈り体験、学校内の水田を活用した、稲作体験を行いました。また、秋保温泉のホテルを訪問し、実際にお客さんに提供している現場を見たり、試食させていただいたりしながら、「秋保環境保全米」がどのように流通・消費されているかを調べました。



【6学年】

あきう生産組合に御協力いただき、学童農園で秋保在来種のそばの栽培を行いました。7月に種をまき、10月に収穫しました。収穫したそばの実を製粉し、自分たちでそばを打って味わう一連の活動です。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

- ・様々な活動を通じた「体験的な学び」を重視しており、活動の振り返りの場面において、環境問題や環境保全、郷土の自然環境や産業を支える人に関する、発言や記述が多く見られました。
- ・故郷に対する理解を深め、携わる人との出会いも含めた郷土愛の醸成につながっています。また、関連する他の教科・領域でも、発言や成果物等から自分の考えを持つための土台や根拠となっていることが分かります。